

平成30年12月13日

西部農林振興センター益田事務所農業普及部

標題

稲WCS需給検討会を開催しました！
～耕種農家、畜産農家、コントラクター組織の意見交換の場に～

(ダイジェスト)

12月7日に津和野町で稲WCS需給検討会を開催しました。今回は初めて耕種農家、畜産農家、コントラクター組織が一同に会し、今年産の品質の検討、次年産に向けた需給調整、意見交換を行いました。

津和野町では平成27年度から町内のコントラクター組織による稲WCSの収穫、製造が行われています。年々栽培面積、供給ロール数は増加しているものの、一部で水分過多による低品質ロールがみられるという問題点があります。これまではコントラクター組織と畜産農家の間で検討会を開催していましたが、今回は耕種農家にも参集の幅を広げ、当日は、11名の出席がありました。

今年度は特に雑草、水管理対策を重点的に取り組み、会では、栽培講習会や水分測定による刈り取り適期の判断等今年度の品質改善のための取り組みについて説明したのち、今年産のWCSの品質について説明しました。水分量、発酵品質ともに改善しており、畜産農家からの評判も上々でした。

また、来年度の生産のため、JAしまね西いわみ米穀課と共同で西いわみ版のWCS用稲栽培暦を作成し、出席者に配布、説明を行いました。

出席者から「穂が多いWCSは問題がないのか」、「刈り取り時の高水分をカバーできる技術はないのか」など、様々な質問があり、それぞれの活動、意見を聞く機会となり、次年度につながる取り組みとなりました。

普及部では来年度も稲WCSの品質向上・維持のための取り組みを行っていきます。



講習会の様子（今年度産のWCSの比較）